

平成28年 9月13日

各大学長
各大学農学部長
各大学水産学部長 殿
各大学理学部長
各関係機関長

弘前大学教育研究院自然科学系長

橋 本 勝
(公印省略)

水圏動物学分野准教授の公募について（依頼）

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび弘前大学農学生命科学部では、下記要領により生物学科水圏動物学分野の准教授を公募することになりました。つきましては、関係各位に周知下さいますようお願い申し上げます。

なお、本件は、本学部ホームページの教員公募情報(<http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/stafflist/koubo/>)にも掲載しております。

記

1. 募集人員 准教授1名（任期なし）
2. 所 属 自然科学系 農学・生命科学領域
3. 専任担当 農学生命科学部生物学科
4. 専門分野 水圏動物学
5. 担当科目
学部：動物行動学・生態学野外実験・臨海実習など
大学院：専攻分野の担当科目、研究方法論、特別研究など（複数の教員による分担も含まれます）
教養教育科目：基礎ゼミナールなど
6. 応募資格 次の要件をすべて満たす者
 - （1）博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有する
 - （2）教育上の実績と、著書および学会誌又はこれに準ずるものに掲載された原著論文・総説を10編以上有する
 - （3）最近5年間に公表された著書および同上の原著論文・総説を3編以上有する
 - （4）研究及び教育上の経歴年数が、採用予定時までに5年以上経過している
7. 着任時期 平成29年4月1日以降のできるだけ早い時期
8. 選考方法
 - （1）書類選考
 - （2）候補者による研究発表（これまでの研究と今後の教育研究・社会貢献について）
 - （3）候補者に対する面接
9. 提出書類
 - 1）履歴書（高等学校卒業以後の履歴を記載したもの）
 - 2）研究業績目録（業績の区分、記載方法については、ホームページを参照してください）

- 3) 研究業績目録に記載された著書、原著論文、総説のうち主要なもの10編以内の別刷又はコピー
- 4) 3)のうちの5編について、各編の学術的意義に関する簡潔な説明書
- 5) 教育業績書
- 6) 地域連携・社会貢献に係わる業績説明書
- 7) 学会および社会における活動状況の説明書
(所属学会とその学会における活動および公的機関の委員会専門委員などの社会における活動について記載してください)
- 8) 従前の研究活動の特徴と今後の教育および研究に対する抱負を述べたもの(それぞれ2,000字以内)

※必要書類中1)、2)、5)、6)は所定の様式に記載して下さい。

様式は、本学部のホームページからダウンロードして下さい。

書類に不備がある場合でもそれに基づいて審査が行われます。不備が多いのは研究業績目録です。記載の仕方にご注意ください。

10. 応募期限 平成29年1月16日(月)(書類必着)期限を過ぎた応募は受け付けません。

11. 書類の提出先

〒036-8561 弘前市文京町3 弘前大学農学生命科学部総務グループ(総務担当)宛
※封筒に「教員応募書類(水圏動物学分野准教授)」と朱書きし、簡易書留、レターパック、EMS、その他法令で認められる送付方法により、送付記録の残る方法で送付して下さい。

12. 問い合わせ先

〒036-8561 弘前市文京町3 弘前大学農学生命科学部総務グループ(総務担当)
電話 (0172) 39-3748 FAX (0172) 39-3750
E-mail jm2745@hirosaki-u.ac.jp

備考

1. 生物学科には、教育コースとして基礎生物学コースと生態環境コースがあります。今回の公募は生態環境コースに所属する教員です。
2. 生物学科は、基礎的な生命現象に関する理解と生物が持つ多様性、適応戦略、進化のメカニズムや生態学、自然環境保全等に関する研究を行っています。
3. 魚類の繁殖などの生態と行動について分子生物学的手法も駆使し研究を推進できる方、アマモ場など藻場の生物群集に造詣が深く、青森県沿岸の水産生物の保全・増殖に貢献でき臨海実習の指導をできる方を望みます。
4. 本学部は、岩手大学、山形大学および帯広畜産大学とともに博士課程大学院(岩手大学大学院連合農学研究科)を構成しており、採用者は連合農学研究科教員となる資格審査を経て博士課程の学生を指導することになります。
5. 選考の過程で面接や研究・教育・社会貢献に関する発表をお願いすることがあります。その場合、旅費は応募者の負担となります。
6. 採用後の給与については、弘前大学で規定する年俸制が適用されます。
7. 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援策については、男女共同参画推進室ホームページ(<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>)をご覧ください。
8. 弘前大学では、担当の授業科目が教職課程認定科目に相当する場合、「所属 自然科学系農学・生命科学領域」の他に、「教員養成部門」に所属することになります。